



DORA / WAXY 導入事例



博多メディカル専門学校 様

所在地 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代4-32-1
 設立 1972年3月
 従業員数 26名
 導入 2019年9月 DORA Plus

デジタルを活用した新しい歯科技工士養成を検討中！

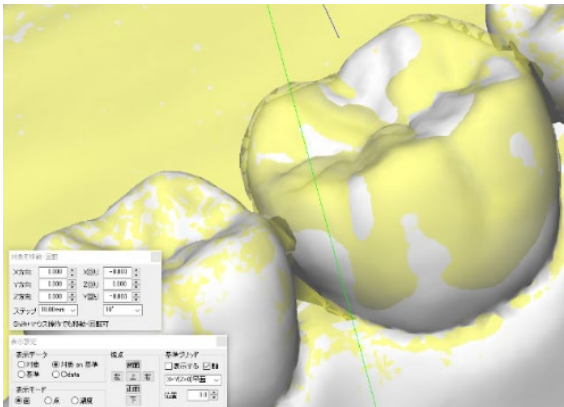
博多メディカル専門学校は歯科技工士、歯科衛生士、臨床工学技士を養成し、これまで4,700名以上の医療専門職を輩出してきました。また、文部科学大臣による職業実践専門課程認定制度により、医療施設や企業、業界団体と連携した授業を通して、豊かな人間性と高い専門性を備えた魅力ある医療専門職の育成を目標にしています。



比較ソフトを用いて教員の感覚的評価を改める

「あと少し」「もうちょっと」といった曖昧表現で作品を評価すると、学生の受け取り方が千差万別なので、修正点を伝えることが非常に難しくなります。また、作品のクオリティが向上しない学生は、歯科技工を苦手意識に捉えやすく、トレーニングを躊躇する傾向があるため、歯科技工士養成の難しさを日々痛感しています。

しかし、デジタルを活用することで、このような曖昧な表現を解決する糸口があります。DORA Plus は見本モデルと作品をスキャンして重ね合わせることで具体的な修正点が明らかになります。咬頭や溝および豊隆など、ズレを数値で表現できるので学生に具体的な修正点を示すことが可能になりました。



実習中の教員は「安全管理」「技術指導」「作品評価」の3業務を同時に行います。時代背景の影響なのでしょうが昨今の学生には、安全管理に労力を注ぐ場面が多く、作品評価をCADで行うことができれば今まで以上の授業改善が期待できます。

博多メディカル専門学校での活用例

学校内に2台のDORA Plusを導入しました。小型・軽量でセットアップが簡便なので、使いたい場面で、教室移動も無理なく行うことができます。



光を通さないものであれば比較ができるので、義歯の人工歯排列、石膏彫刻での比較作業で活用できます。ワックスアップに関してはスプレーを照射して光の透過を抑えて計測します。データが得られたら、Wi-Fi経由でタブレット端末に転送し実習機で作品の手直しを行います。

まとめ

コンピュータやデジタルに全く抵抗がない現代の学生には、うってつけの方法ではないかと思えます。デジタル歯科技工の成長に合わせて新しい教育方法をこれからも検討して参りたいと考えています。

教務主任 山田 誠 先生 ご執筆

発売元

製造販売元

デジタルプロセス株式会社

デンタルビジネス室

住所 〒243-0018 神奈川県厚木市中町2丁目9番6号

TEL 046-225-3929 FAX 046-205-4736

Email dental@dipro.co.jp URL www.dipro.co.jp